

令和7年度 第1回「生徒による授業アンケート」について（報告）

本校の教育活動につきましては、日頃よりご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和7年7月に第1回の「生徒による授業アンケート」を実施いたしました。第1回の結果を踏まえ、授業改善への手立てを検討し、各教科で授業の質の向上に取り組んでおります。

つきましては、各教科のアンケート集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧いただき、ご質問やご意見などがありましたら、ご連絡くださるようお願いいたします。

1. 集計対象の科目（一部略称あり）

教科名	科目名		教科名	科目名	
国語	現代の国語	言語文化	芸術	音楽Ⅰ*3	書道Ⅰ*3
地歴公民	公共	歴史総合*2	外国語	英語コミュニケーションⅠ*4	論理・表現Ⅰ
数学	数学Ⅰ*4	数学A*2*4	家庭		
理科	生物基礎	物理基礎*2	情報	情報Ⅰ*1	
保健体育	体育*1	体育*2	保健		
	スポーツ概論*1	スポーツ総合演習*1			

*1 スポーツ科学科のみの科目 *2 普通科のみの科目 *3 選択科目 *4 習熟度別授業を展開している科目

2. 質問及び選択肢の一覧

分類	質問		略称
授業のあり方	1	教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	理解度
	2	毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	ねらい・ふりかえり
	3	授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	思考の機会
	4	授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	まとめ・解決の機会
学習の状況	5	先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	意欲的態度
	6	予習、復習をしっかりとやっている。	予習・復習
	7	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	成長実感
	8	授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	思考の実践
	9	授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	まとめ・解決の実践
	10	授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	既習事項とのかかわり
	11	家庭学習を習慣化している。	家庭学習

否定的 1 ほとんどあてはまらない 2 あまりあてはまらない 3 ほぼあてはまる 4 かなりあてはまる 肯定的

問合せ先

副校長 吉垣 武

電話 046-241-8001

3. 各教科の回答割合（一覧）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		理解度	ねらい・ふりかえり	思考の機会	まとめ・解決の機会	意欲的態度	予習・復習	成長実感	思考の実践	まとめ・解決の実践	既習事項とのかかわり	家庭学習
国語	1	0%	2%	2%	2%	2%	10%	3%	1%	1%	1%	17%
	2	6%	16%	10%	10%	15%	36%	19%	10%	15%	18%	40%
	3	47%	47%	43%	54%	51%	39%	55%	61%	61%	59%	32%
	4	47%	35%	45%	34%	33%	16%	22%	28%	22%	22%	11%
	一	6%	18%	12%	12%	17%	46%	23%	11%	16%	19%	58%
	+	94%	82%	88%	88%	83%	54%	77%	89%	84%	81%	42%
地理公民	1	1%	1%	1%	1%	2%	8%	2%	1%	1%	1%	16%
	2	10%	14%	11%	12%	13%	35%	20%	14%	15%	18%	40%
	3	52%	51%	56%	57%	56%	43%	55%	59%	60%	58%	35%
	4	37%	34%	32%	30%	29%	13%	23%	26%	23%	23%	9%
	一	11%	15%	12%	13%	15%	44%	22%	15%	17%	19%	56%
	+	89%	85%	88%	87%	85%	56%	78%	85%	83%	81%	44%
数学	1	2%	1%	2%	1%	2%	7%	1%	1%	2%	0%	12%
	2	9%	18%	12%	10%	12%	24%	11%	14%	13%	12%	36%
	3	54%	52%	54%	59%	52%	47%	54%	60%	60%	62%	38%
	4	36%	29%	33%	30%	34%	22%	33%	24%	25%	25%	14%
	一	10%	19%	13%	11%	14%	31%	12%	15%	15%	12%	48%
	+	90%	81%	87%	89%	86%	69%	88%	85%	85%	88%	52%
理科	1	0%	1%	1%	1%	1%	9%	2%	1%	2%	1%	15%
	2	9%	14%	10%	9%	11%	29%	13%	14%	13%	13%	39%
	3	57%	52%	58%	61%	57%	45%	58%	60%	61%	58%	35%
	4	34%	33%	31%	28%	30%	17%	27%	25%	24%	27%	11%
	一	9%	15%	11%	11%	12%	38%	15%	15%	15%	14%	54%
	+	91%	85%	89%	89%	88%	62%	85%	85%	85%	86%	46%
保健体育	1	1%	1%	3%	2%	1%	11%	2%	2%	2%	2%	21%
	2	7%	9%	11%	9%	9%	30%	10%	14%	12%	11%	36%
	3	52%	51%	50%	52%	52%	42%	54%	57%	56%	57%	32%
	4	40%	38%	36%	38%	38%	17%	34%	28%	29%	29%	11%
	一	8%	11%	14%	11%	10%	41%	12%	16%	14%	13%	57%
	+	92%	89%	86%	89%	90%	59%	88%	84%	86%	87%	43%
芸術	1	6%	5%	10%	6%	8%	16%	7%	9%	6%	6%	25%
	2	13%	12%	13%	13%	14%	28%	13%	14%	16%	17%	39%
	3	52%	52%	48%	55%	52%	42%	51%	53%	57%	51%	27%
	4	29%	31%	30%	26%	26%	13%	29%	23%	22%	25%	9%
	一	18%	17%	23%	19%	22%	44%	20%	23%	22%	24%	64%
	+	82%	83%	77%	81%	78%	56%	80%	77%	78%	76%	36%
外国語	1	1%	1%	1%	2%	1%	7%	2%	2%	1%	1%	14%
	2	6%	12%	8%	9%	11%	30%	9%	10%	11%	12%	40%
	3	57%	54%	56%	57%	55%	46%	62%	60%	60%	61%	33%
	4	36%	33%	35%	33%	32%	17%	27%	28%	28%	25%	12%
	一	7%	13%	9%	11%	13%	37%	11%	12%	12%	13%	54%
	+	93%	87%	91%	89%	87%	63%	89%	88%	88%	87%	46%
家庭	1											
	2											
	3											
	4											
	一	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	+	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
情報	1	5%	0%	0%	0%	3%	11%	3%	5%	3%	3%	22%
	2	8%	11%	11%	11%	3%	43%	11%	14%	16%	11%	49%
	3	35%	41%	49%	51%	41%	30%	43%	49%	43%	57%	19%
	4	51%	49%	41%	38%	54%	16%	43%	32%	38%	30%	11%
	一	14%	11%	11%	11%	5%	54%	14%	19%	19%	14%	70%
	+	86%	89%	89%	89%	95%	46%	86%	81%	81%	86%	30%

4. 各教科の集計分析及び授業改善案

教科	集計分析	授業改善
国語	現代の国語・言語文化ともに、授業のあり方の対話的で深い学びの実現や協働的な学習に対する肯定的な回答が多く見られた。このことから授業内においては、見方・考え方を働かせながら、他者と協働しながら、知識を相互に関連付けたうえで深く理解しようとする姿勢が身につけていると考える。一方で、授業に対する予習や家庭学習に関しては否定的な回答が多くあり、知識・技能の確実な定着に向けた学習課題の設定などを図っていく必要があると考えられる。	Google クラウドルームやクイズレットを活用し、授業内容を復習することができる課題などを設定することで、家庭学習の習慣化を図っていく。 小テストの日程を精査し、生徒の主体的な学習態度および知識・技能の定着化を図っていく。 国語への興味・関心を高めるとともに、国語を学習することの意義を生徒自身が見いだせるよう、生徒同士が協働的に学習できる場を設け、生徒の主体的な学習態度を育む。
地歴公民	地歴公民ともに、「予習・復習をしている。」「家庭学習を習慣化している。」の項目が否定的な回答が多かった。生徒の意欲を引き出す授業アプローチを行い、授業外での自発的を促していく必要がある。 また、授業のあり方についての解答は肯定的な回答が多かったため、より多くの生徒を引き付けられる授業実践を心がけたい。	学習内容を精選、学習方法をわかりやすく示し、積極的に学習に臨めるよう促す。 生活に関係のある題材設定や問いかけをおこなうことで、生徒が身近な様々な事象・事柄に疑問を持ち、探究できるよう促す。 プリントやクロームブックなどを利用した探究的な活動を取り入れることで、授業外の様々な事象に興味を持つよう促す。
数学	「理解度」や「ねらい・ふりかえり」など多くの項目については多くの肯定的な回答が得られたことから、授業に真剣に取り組んでいると考える。しかし、「予習・復習」や「家庭学習」の項目については他の項目に比べて肯定的な回答が少ないことから、家庭学習の習慣が身につけていないと考えられる。少しでも向上させられるよう2学期以降の授業を工夫していきたい。	家庭学習の時間を確保するために、復習を生徒にさせたい。その為に、自宅学習用の課題を積極的に出す。課題に取り組んだ生徒を認めることで、生徒一人ひとりの自己肯定感を伸ばしたい。また、生徒の理解度を定期的に測るためにも小テスト等の回数を増やしてきめ細かな指導につなげたい。
理科	どの科目も授業のあり方については概ね肯定的な回答を得ている。また、授業人数が少人数であるほどその傾向が高くなっている。教材の工夫、授業のまとめ・解決の機会の確保などについても十分に効果的であると思われる。生徒も、授業内での基礎的な知識や技能の定着については、一定の成果を実感している。 一方、どの科目も学習状況に関して「予習・復習」や「家庭学習」は例年と同様に肯定的な回答が低い。教科の特性として毎回の授業に対して予習を求めているとせず、授業内での理解に重きを置いていることから、家庭学習の時間は少なくなっていると思われる。	授業内での基礎的な知識の定着を踏まえて、家庭でも取り組みやすい課題の設定を工夫する。また、学習内容により興味を湧くような課題を与え、発表やレポート、小テストなどを通じて学習習慣を定着させる。更に、普段の生活や他教科の学習と関連付けて授業を展開し、横断的に科学知識や様々な自然現象に関心を持てるような指導を工夫していきたい。また、そのように自然現象と科学と人との関わりへ関心を持つことが、理科における「予習・復習」であり「家庭学習」となることを周知したい。
保健体育	スポーツ科学科のスポーツⅠ、スポーツⅢ、スポーツ概論普通科の体育に関しては、理解度やねらい・ふりかえり、意欲的態度、成長の実感に関する項目などで約90%肯定的な回答であった一方で、予習・復習や家庭学習に関しては否定的な回答が約半数であった。スポーツ総合演習に関しては、まとめ・解決の機会、意欲的態度などの項目で約90%が肯定的な回答であった。 保健に関しては全体を通して約80%以上が肯定的な回答であったが、その中でも理解度やまとめ・解決の機会の項目で約90%が肯定的な回答であった。体育と同様に予習・復習、家庭学習の項目に関しては約半数が否定的な回答となる結果となった。	いずれの種目に関しても振り返りシートを活用し、理解度やねらい・ふりかえり、思考の機会を増やすことを目指した。結果として肯定的な回答を得ることができたため、今後も継続していきたい。 予習・復習、家庭学習の定着化を図るためにも、特に保健では日常生活に結びついた気づきや思考を目的とした課題の提示を行うこと、保護者や身近な人とコミュニケーションをとることによって達成できる課題などを工夫して行っていきたい。

芸術	授業のあり方についての項目は肯定的回答が多い。否定的回答が特に多いのは、「予習・復習」、「家庭学習」の項目である。	生徒が自身の成長を実感し、学習の動機が高められるよう、目標が明確な取り組みやすい授業づくりを行う。また、授業での学習内容と普段の生活との関わりを意識づけることで、家庭学習につながるよう取り組みたい。
外国語	「教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている」が肯定的解答が半数を超えており、生徒の習熟度に合わせた授業が行われていることがうかがえる。その一方で、「予習・復習をしっかりとっている」という質問に対しては否定的回答が40%を超えている。このことから授業の中においても家庭学習の習慣を付け、生徒が自発的に学習に取り組めるよう、取り組んでいく必要がある。	自発的に英語学習に取り組めるようにするため、授業内で家庭学習を行えるような声掛けを行うことや授業で生徒が楽しいと思えるようなアクティビティを行うことで英語に対する抵抗を下げる工夫が必要である。
情報	「取り組みやすく理解度に合わせた授業」と「身についたことを実感できた」の項目が比較的に高く、実習を中心とした授業としては良い方向であると感じた。「家庭学習を習慣化している」、「予習・復習をしている」の項目は比較的に低い。	生徒に興味を持たせる、学ぶ意欲をもたせるような授業を考えていきたい。1回の授業の中で、理解をするポイントがはっきりしており、身についたことの実感できる授業を目標とする。詰め込みすぎて理解するポイントが多すぎるのは避けたい。

※紙面の都合上、質問内容については〈略称〉を用いて表記しています。

分類	質問	略称
授業のあり方	1 教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	理解度
	2 毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	ねらい・ふりかえり
	3 授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	思考の機会
	4 授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	まとめ・解決の機会
学習の状況	5 先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	意欲的態度
	6 予習、復習をしっかりとっている。	予習・復習
	7 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	成長実感
	8 授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	思考の実践
	9 授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	まとめ・解決の実践
	10 授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	既習事項とのかかわり
	11 家庭学習を習慣化している。	家庭学習の習慣化